



【発行】下都賀教育事務所 ふれあい学習課 栃木市神田町6-6 0282-23-3422 E-mail: shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

下都賀地区PTA指導者研修Ⅱ

10月16日(月)、野木町文化会館(エニスホール)を会場に標題研修会を開催しました。

「子どもの体験活動の意義と重要性」を演題に、國學院大学人間開発学部子ども支援学科准教授の青木 康太郎 氏より、子どもの頃の体験がその後の成長にもたらす効果や子どもの成長を支える環境づくりの大切さについて御講話いただきました。また、その後の意見交換では、「多様な体験を土台とした子どもの成長を支える環境をつくるために、PTA指導者としてどんなことができるか。」について話し合い、有意義な研修となりました。【参加者の感想】

- ・子どもの体験活動がいかに大切かを知ることができました。
- ・子どもの成長のために一緒に活動したり、環境づくりにも協力したりしていこうと思いました。
- ・コロナ禍でなかなかPTAの活動が行われなかったため、今後PTAで体験活動等できたらいいなと思います。



下都賀地区ふれあい学習研修会 兼 下都賀地区地域連携教員研修

11月17日(金)、城址公園ホール(壬生中央公民館)にて、「人と人、学校と地域をつなぐ 広報の“コツ”」をテーマに標題研修会を開催しました。前半は、情報を発信する先に受け手がいることを意識したお便りやチラシづくりの“コツ”について、皆さんと一緒に考えました。後半は、宇都宮メディア・アーツ専門学校ビジュアルデザイン科の山田 有宏 先生と 榎林 美伎 先生に、人の心に届くお便りやチラシのデザイン“コツ”について、ワークショップを交えてお話しいただきました。参加者からは、「一方的な発信ではなく、相手を意識した情報発信をすることの大切さを改めて理解することができた。」等の感想をいただきました。

多くの保護者や地域住民の共感や協力を得ながら地域学校協働活動を展開していくため、引き続き、積極的な情報発信をお願いします。



地域をつなぐふれあい学習

社会福祉法人「みゅぜ・ど・ぼすてるとパステル」コンサート

社会福祉法人パステルの中の1つの事業所、CSW おとめの「CSW」は Community Social Work (地域社会福祉)の訳語で、「笑顔の集まる場所 CSW おとめ」を目指しております。この場所で12月に2回、コンサートを行います。1回目は、山村多恵子様のおカリナとフルートの演奏会。2回目のクリスマスコンサートは劇団四季から独立された大村真佑様をお迎えします。コンサートには、地域から多くのお客様がお越しになり、パステルの御利用者様と共に音楽を楽しみます。

CSW おとめの建物は、栃木県産木材を利用しており、高い天井と木材の音の響きは、心の奥底まで響きます。このような環境のもとで障害のある方は過ごしております。この実践活動は、障害者を社会が包み込むソーシャルインクルージョンのほんの小さな実践活動です。私たちは、この積み上げが、新たな歴史を生み出すと信じて、実践活動を重ねております。



下野市 「下野 JLC の活動」

中高生で構成されているボランティア団体である下野JLC(ジュニアリーダーズクラブ)では、様々な地域イベントにてお手伝いを行っています。10月15日(日)には「市民活動センターまつり」に、10月29日(日)には「下野市産業祭」に、運営ボランティアとして参加し、下野市青少年育成市民会議の役員とともに合同出展しました。JLC会員は、動物や剣などの形にしたバルーンアートを作り、来場者にプレゼントする役割を担当しました。プレゼントは、小学生などからとても喜ばれていました。また、市民会議の役員からは「次回以降もぜひ協力して地域イベントに参加してほしい。」とのお言葉をいただくことができました。

まちづくりや地域活性化を身近に感じられる貴重な機会に携わることができ、JLC会員にとっても、大変有意義な経験となっています。



小山市手をつなぐ育成会 「スポーツレクリエーション大会」

12月2日(土)に、小山市手をつなぐ育成会主催で、「障がい者スポーツレクリエーション大会」を開催しました。感染症対策のため、育成会のイベントをなかなか開催できずにいた中、4年ぶりの開催となったこともあり、皆さんとても楽しみにされ、知的障がい者支援を実施する市内6事業所から、合わせて200名近くの方が参加してくださいました。

手をつなぐ育成会や市内障がい福祉事業所職員の皆さんと共に、障がいの重さに関わらず誰もが安全に楽しめるよう種目の検討を重ね、工夫を凝らしました。アキュラシー・フライングディスクやボールリレーでは、順位に関係なく、利用者の皆さんが真剣に協力し合い、チームで団結する姿が印象的でした。大会が終わった後も、「とても楽しかった。」という声が多く聞かれ、大変有意義な機会となりました。

